

心理専門職のための 「ケースに学ぶ子どもの心理臨床」

*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期研修機会(ワークショップ)」の承認を受けております。<承認期間:平成29年7月1日~平成34年6月30日 承認番号:W29111>

期 日:2018年1月28日(日)

受講対象:子どもの心理臨床に関心をお持ちの臨床心理士・臨床発達心理士・学校心理士等
および大学院生など

定 員:80名(満員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください)

受講料:5,000円(税込み) ※昼食は各自おとりください

会 場:明治安田こころの健康財団 講義室 ※詳細地図は受講証に添付いたします
東京都豊島区高田3-19-10 ☎03-3986-7021

JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約7分

主 催:公益財団法人 明治安田こころの健康財団

本講座は、臨床現場で日々ケースに向き合い、子ども一人ひとりに応じた関わりを見出そうと取り組まれている方々に向けた講座です。当相談室での子どもの心理相談の実践例を取り上げ、「子どもの心理的テーマや発達課題に応じた支援者の関わりの工夫」について具体的に考えることを目的としています。

4回目となる今回は、「子どもの心理相談におけるグループアプローチの活用」について検討します。子どもとの個別の心理相談を進めていく中で、さらなる成長を支えるために、グループアプローチの必要性を感じることは多いのではないのでしょうか。私たちも、対人関係でうまくいかないことが多い・学校で問題行動が生じているなど集団場面で困っている子どもたちや、学校に行くことが難しい子どもたちに出会う時、「グループでの関わりができたなら…」とあってきました。一方で、メンバー構成やスタッフ・場所の確保など、様々な制約がある現場の相談機関でいわゆるグループセラピーを行うことの難しさも感じてきました。

そこで、当相談室では、個別の心理相談においてグループアプローチ的要素を取り入れ、「一人の子どもに複数のスタッフ関わる」ことや「親子合同面接」などを、個別の相談と組み合わせることを試みています。また、小学生や中学生を対象としたグループセラピーも行っています。様々な考え方のグループセラピーがある中、当相談室では個別の心理相談との連続性を意識したグループセラピーを実践しています。

当日は、実際に子どもたちと行っているプログラムや進め方を紹介し、ご参加の皆様とのディスカッションによりケース理解を深め、グループアプローチの活用について検討する機会にしたいと考えています。

本講座にこれまでご参加くださった方も、初めてご参加の方も、お待ちしております。

【すこやか育成相談室長 野並 美雪】

【プログラム】

	時間	テーマ	講師(敬称略)
1月 28日 (日)	10:30 ~12:00	《講義とケース報告①》 子どもの心理的テーマや発達課題に応じた関わりの工夫 - 個別の心理相談の中でグループアプローチを活用する -	明治安田こころの健康財団 すこやか育成相談室 室長・臨床心理士 野並 美雪
	13:00 ~16:00	《講義とケース報告②》 集団場面において困難さがみられる子どもたちとの グループセラピーの実践	(前 掲) 野並 美雪 副室長・臨床心理士 松浦 麻美子 すこやか育成相談室スタッフ
	16:15 ~16:45	全体のまとめとディスカッション	(前 掲) 野並 美雪 (前 掲) 松浦 麻美子